



木戸 俊治

### 「学校再編」に関する諸問題「下」

**問** 今回各小学校区で初めての住民説明会が開催され、これで十分な理解が得られたとは思えないが、町当局は、この説明会の内容をどう評価、総括し、今後の大阪府との交渉を進めるのか伺う。

**答** 町づくりや少子化、そして地域の学校への思いや特色ある学習環境の継続を求める意見など、それぞれに貴重な意見であると考えている。

**問** 大阪府の担当課には、各校区の質疑の概要等を第一報として伝えている。

**答** 本町は、いずれも老朽化が著しい学校施設が多く、耐震化も併せて、順次計画的な改築等が必要と思われる。また今後の社会保障費の増加等財政の悪化も予想され、教育施設の整備や、通学パスの運営等を考慮すると、町財政の実態はどうなのかを伺う。また住民に対し現状を説明することも必要と考えるが、

**問** 発債の元利償還、町税の減収見込みなど今後更に厳しい状況になると認識している。しかし次世代を担う子ども達の教育環境の整備は重要課題であり、何物にも優先して重点的に財源を配分すべきものと考えている。現行の行財政計画をさらに推し進め財源の捻出を図りたい。新たな学校に係わる事業費、運営費等の収支見通しについては、八月策定予定の「能勢町版骨太の方針二〇一〇」に示したい。

**問** 重さが詰っているものであろうと理解をしています。しかし、学校は子どもたちのためにあり、少子化が進み、国の基準の複式学級に該当する学年も存在しています。また、学習だけでなく、遊びの場、人間関係を学ぶ場として、学校は、やはり一定の規模が必要と考えています。

**問** 能勢町に用地の譲渡が決定された場合、イコール学校構想の決定を意味するのか伺いたい。

**答** 学校新構想の決定は、学校の設置条例や実施設計予算を議会で認めてもらった時が決定であると考えます。

**問** 学校再編は大変重要な問題であり、住民に対し町からの情報発信が大事と思われるが、

**答** 先般の説明会で住民の方々からいろいろな意見を頂戴した。今後様々な関連事項について広報等を使って説明していきたい。

**問** 学校再編説明会について「参考にするべき意見がなかった」というパブリックコメントの評価に対し、多くの疑問が出されたが、どう思うか？

**答** この手続は、政策案への賛否を投票するものではないということをご理解いただきたい。

**問** 一般住民にとってはこのパブリックコメントが自分たちの考えを述べられる唯一の機会であった。今回の説明会で出た意見も殆どこの中に書かれている。それらを全て、賛否の意見で「参考にならない」として片付けたのか？

**答** この学校再編基本方針は、学識者や住民代表の皆さんを入れ、何年にも渡っているんな観点から十分に議論頂いて出した方針で、再編していく上での意見については、十分に参考にさせて頂く。教育構想検討委員会最終提言は、「時期尚早」となっているが、中間提言では、「広く住民の意見を聴取した上で再度検証



谷 義樹

### 一、学校再編説明会について 二、火葬場建設について

分析して、時期を失しないで次の対策を考える」となっている。この点どう取組んだか？

**答** 耐震化の問題が出て、学識者や地域の方々、区長さんや関係機関、またPTA、各学校・幼稚園等から推薦いただき、学校教育検討委員会を立ち上げた。この検討委員会も住民の意見を聞く場の一つと考えている。

**問** 四回目の検討委員会で委員長から、この場は教育的論理が優先するので、ここで地域の問題を議論してもらっては困るという発言があった。住民の意見が十分出せない状況で検討委員会が進行したと感じたが、どう思うか？

**答** 答申をまとめる際、委員から、「地域の思いままで検討するとなれば、これはまともでない」という意見があり、実態として答申は教育に限定して提出された。

**問** 12月議会で、「圧倒的多数の住民の理解を得るため、説明責任を果たす」との答弁があった。今も変わらないか？

**答** 今後も幼稚園やPTA、また各区単位の説明会等住民に御理解を求めるため、いろいろな方策をとっていきたい。

**問** 学校再編をやるかやらないかは、最後は住民が決めることだと思いが、どうか？

**答** 地方公共団体の意思決定機関は議会で、住民の代表の議員さんにより、議会で判断をしていただくものと思っている。

**問** 火葬場建設について  
昨年9月、白紙で検討するという説明があったが、その後の進捗は？

**答** 9月の定例会か、遅くとも杉原区との更新のときまでには、何らかの計画が示せるよう努力している。

**問** 杉原地区との話しはその後どうなっているか？

**答** 何か進展があった場合は、話をさせていたいくことになっている。